

# 第 I 章 本県の水産業・漁村の現状

## 1 生産状況

### (1) 概要

本県の海岸線は総延長400kmで、沖合海域では北上する黒潮の影響が強く、沿岸部では、流入する河川水や豊後水道から南下する沿岸水と黒潮によって複雑な海況となっており、沿岸はイワシ、アジ、サバ等の好漁場となり、さらにその沖合にはカツオ、マグロの漁場が形成されています。



近海かつお一本釣漁船（南郷町目井津港）

海面漁業は、北部ではまき網、底びき網などの網漁業とブリ類、マダイを主体とする養殖業、中部では船びき網、一本釣、曳縄、はえ縄、底びき網、さらに南部ではかつお一本釣、まぐろはえ縄等の沖合漁業が盛んに行われています。



マグロ延縄漁

特に、「近海かつお一本釣」の漁獲量は、平成6年から23年連続で日本一の地位を保っています。

海面養殖業は冬季の高水温と天然種苗の確保が容易であるという条件を背景にして内湾のある県北・県南部のはまち養殖を中心に順調に伸びてきました。

近年は、ニーズの多様化等により、沖合養殖によるブリ類の品質の向上が図られる一方で新魚種への転換が進み、ブリ、カンパチをはじめとして、マダイ、シマアジ、マサバ等の養殖が行われています。

水産加工業は、県内に広く立地し、イワシ、アジ等の塩干、煮干し品や節製品を主体に生産しています。

内水面漁業については、大淀川、一ツ瀬川、五ヶ瀬川、小丸川、耳川などにおいて、アユ、コイ、ウナギ等を対象とする河川漁業が行われています。

また、天然種苗や豊富な地下水、温暖な気候を活かし、ウナギ、アユ等の内水面養殖が行われています。



養殖ブリ水揚げ

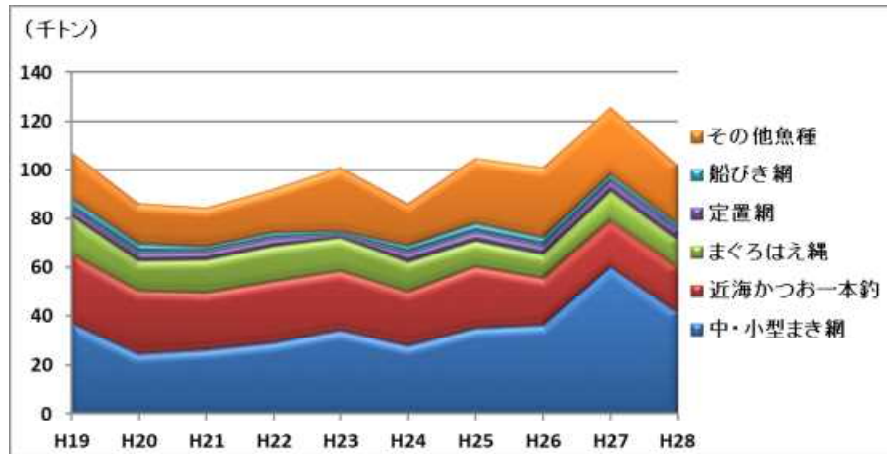
## (2) 海面漁業・養殖業

### 1) 漁業種別漁獲量・生産額

海面漁業における平成28年の漁獲量は101,748トンで、前年と比べ24,130トン(19.2%)減少しました。

また、生産額は256億1,300万円で、前年と比べ27億8,400万円(9.8%)減少しました。

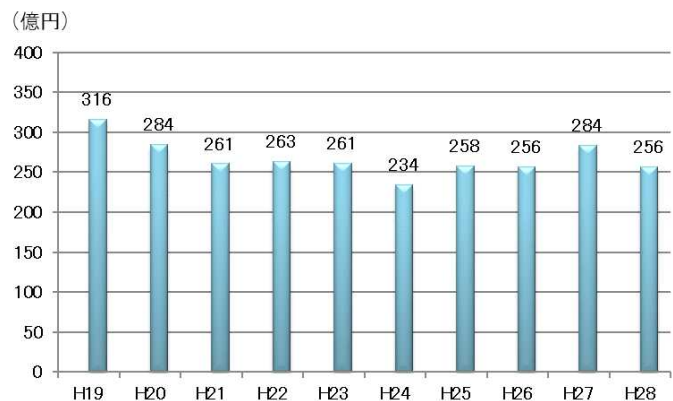
漁業種別漁獲量の推移



平成28年漁業種別漁獲量の割合



海面漁業生産額の推移



漁業種別漁獲量・生産額

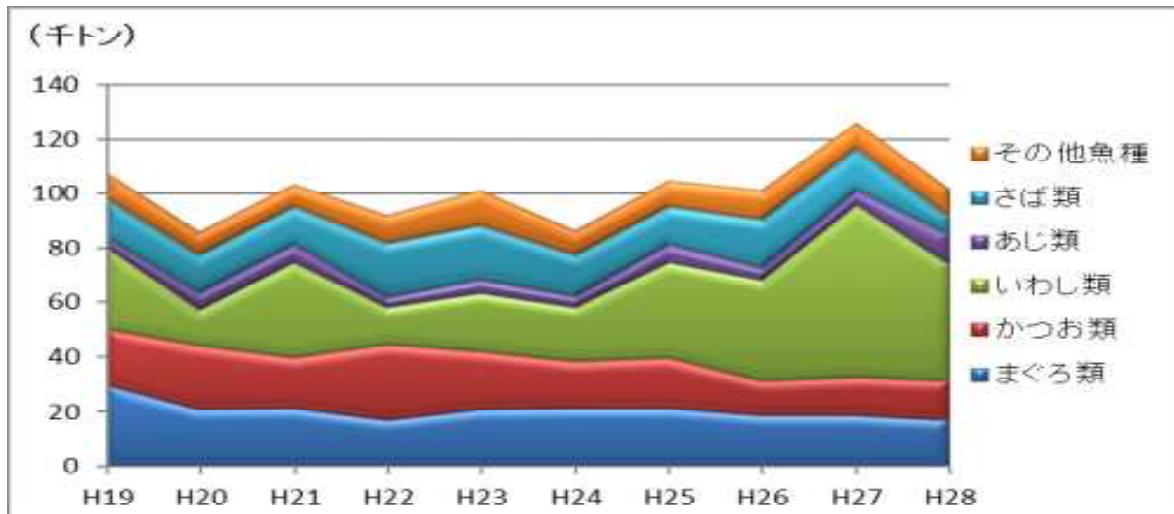
単位 (漁獲量: トン、生産額: 百万円)

区分		H24	H25	H26	H27	H28	増減率 (%)	
							H28/H24	H28/H27
合計	漁獲量	86,534	104,884	101,229	125,878	101,748	17.6	▲ 19.2
	生産額	23,427	25,791	25,639	28,397	25,613	9.3	▲ 9.8
中・小型まき網	漁獲量	27,935	35,191	36,218	60,021	41,387	48.2	▲ 31.0
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
近海かつお一本釣	漁獲量	22,133	25,157	19,547	19,190	18,363	▲ 17.0	▲ 4.3
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
まぐろはえ縄	漁獲量	12,114	10,473	9,767	11,948	11,629	▲ 4.0	▲ 2.7
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
定置網	漁獲量	4,093	3,852	3,713	4,071	4,057	▲ 0.9	▲ 0.3
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
船びき網	漁獲量	2,534	3,481	2,787	2,504	2,221	▲ 12.4	▲ 11.3
	生産額	-	-	-	-	-	-	-
その他漁業	漁獲量	17,725	26,730	29,197	28,144	24,091	35.9	▲ 14.4
	生産額	-	-	-	-	-	-	-

資料: 平成28年漁業・養殖業生産統計

## 2) 魚種別漁獲量・生産額

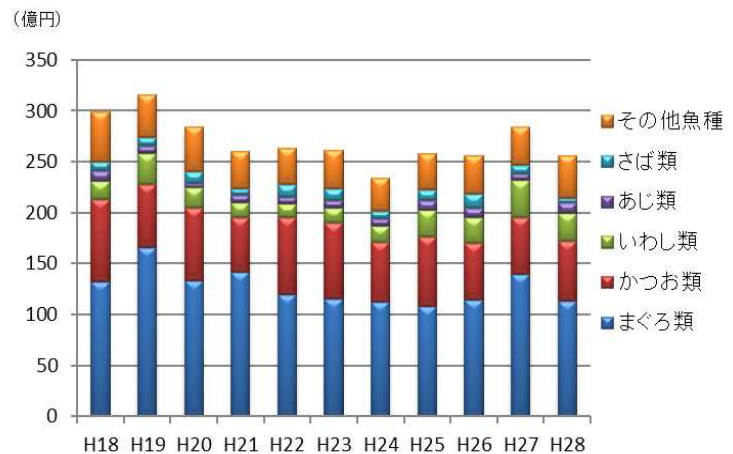
魚種別漁獲量の推移



平成28年魚種別漁獲量の割合



魚種別生産額の推移



魚種別漁獲量・生産額

単位 (漁獲量: トン、生産額: 百万円)

区分		H24	H25	H26	H27	H28	増減比(%)	
							H28/H23	H28/H27
合計	漁獲量	86,534	104,884	101,229	125,878	101,748	0.6	▲ 19.2
	生産額	23,427	25,791	25,639	28,397	25,613	▲ 2.0	▲ 9.8
まぐろ類	漁獲量	21,436	21,295	18,728	19,001	17,034	▲ 18.2	▲ 10.4
	生産額	11,250	10,748	11,365	13,960	11,356	▲ 1.0	▲ 18.7
かつお類	漁獲量	17,123	18,614	12,851	14,080	14,726	▲ 30.5	4.6
	生産額	5,779	6,813	5,593	5,584	5,810	▲ 22.3	4.0
いわし類	漁獲量	19,729	34,813	36,474	62,823	42,072	95.1	▲ 33.0
	生産額	1,660	2,658	2,533	3,624	2,719	85.5	▲ 25.0
あじ類	漁獲量	4,386	6,979	5,145	5,365	11,007	119.5	105.2
	生産額	679	992	902	668	1,079	43.5	61.5
さば類	漁獲量	14,886	13,588	17,494	15,098	6,538	▲ 67.4	▲ 56.7
	生産額	718	993	1,398	846	451	▲ 60.5	▲ 46.7
その他魚種	漁獲量	8,974	9,595	10,537	9,511	10,371	▲ 16.9	9.0
	生産額	3,341	3,587	3,848	3,715	4,198	9.5	13.0

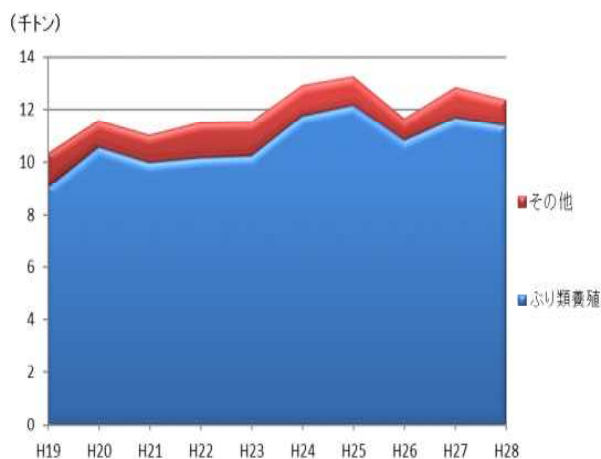
資料: 平成28年漁業・養殖業生産統計

### 3) 海面養殖業の収穫量・生産額

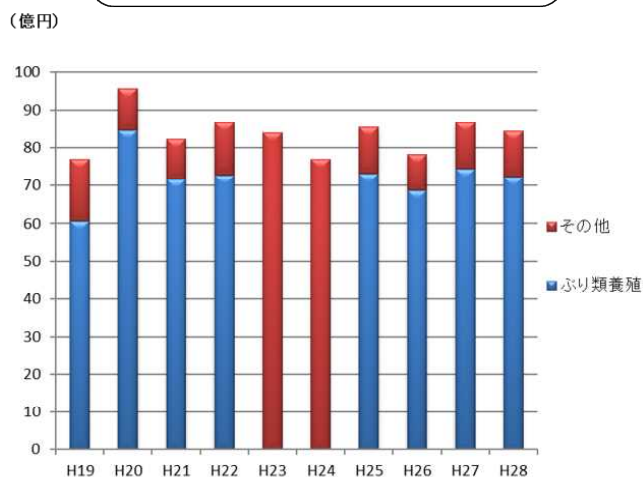
海面養殖業は冬季の高水温と天然種苗の確保が容易であるという条件を背景にして内湾の多い県北・県南部のブリ類養殖業を中心に順調に発展してきました。

近年は、ニーズの多様化等により、ブリ類養殖から新魚種への転換が進み、カンパチをはじめとして、マダイ、シマアジ、マサバ等の養殖が行われる一方で、ブリ類養殖では、沖合養殖による品質の向上が図られています。

海面養殖業収穫量の推移



海面養殖業生産額の推移



※平成23・24年度は「ぶり類」の生産額が未公表

海面養殖業収穫量・生産額

単位（収穫量：トン、生産額：百万円）

区分		H24	H25	H26	H27	H28	増減比(%)	
							H28/H24	H28/H27
合計	収穫量	12,938	13,257	11,663	12,861	12,376	▲ 4.3	▲ 3.8
	生産額	7,698	8,533	7,815	8,659	8,437	9.6	▲ 2.6
ぶり類養殖	収穫量	11,757	12,155	10,816	11,656	11,370	▲ 3.3	▲ 2.5
	生産額	X	7,315	6,870	7,430	7,230	-	▲ 2.7
まだい養殖	収穫量	684	609	506	791	590	▲ 13.7	▲ 25.4
	生産額	543	516	414	604	482	▲ 11.2	▲ 20.2
その他	収穫量	497	493	341	414	416	▲ 16.3	0.5
	生産額	X	702	531	625	725	-	16.0

資料：平成28年漁業・養殖業生産統計



ブリ



タイ

### (3) 内水面漁業・養殖業

#### 1) 内水面漁業・養殖業の生産量

内水面漁業における平成28年の主要河川（大淀川、一ツ瀬川）の漁獲量は37トンで、前年に比べ5トン（対前年比11.9%）減少しました。

本県は、ウナギとアユの天然種苗に恵まれており、豊富な地下水と湧水及び温暖な気候を生かした養殖業が各地で営まれています。内水面養殖業における平成28年の収穫量はうなぎを主体として3,945トンで、前年に比べ102トン（対前年比2.5%）減少しました。

平成28年内水面漁業漁獲量



平成28年内水面養殖業収穫量



内水面漁業漁獲量の推移

単位：トン

区分	H24	H25	H26	H27	H28	対各年比(%)	
						H28/H24	H28/H27
合計	63	64	54	42	37	▲ 41.3	▲ 11.9
あゆ	18	21	16	11	7	▲ 61.1	▲ 36.4
こい	8	7	5	4	3	▲ 62.5	▲ 25.0
うなぎ	5	3	3	3	3	▲ 40.0	0.0
その他	32	33	30	24	24	▲ 25.0	0.0

※大淀川、一ツ瀬川の合計

資料：平成28年漁業・養殖業生産統計

内水面養殖業収穫量の推移

単位：トン

区分	H24	H25	H26	H27	H28	対各年比(%)	
						H28/H24	H28/H27
合計	4,014	3,687	3,902	4,047	3,945	▲ 1.7	▲ 2.5
あゆ	431	391	289	256	248	▲ 42.5	▲ 3.1
こい	371	367	364	362	362	▲ 2.4	0.0
うなぎ	3,111	2,840	3,167	3,348	3,255	4.6	▲ 2.8
その他	101	89	82	81	80	▲ 20.8	▲ 1.2

資料：平成28年漁業・養殖業生産統計

## (4) 水産加工業

### 1) 水産加工品生産量

水産加工業は、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、串間市、門川町など県内に広く立地し、イワシ、アジ、サバ、チリメン等の塩干品、煮干し品、ねり製品等を主体に生産しています。平成28年の本県における水産加工品（陸上加工）の生産量は、前年と比べて18,876トン増の36,054トン（対前年比34.4%増）となっています。

#### 水産加工品生産量の推移

単位：トン

区分		H24	H25	H26	H27	H28	対各年比(%)	
							H28/H24	H28/H27
合計	生産量	31,781	36,418	33,629	54,930	36,054	13.4	▲ 34.4
ねり製品	生産量	2,183	2,422	2,521	2,760	2,822	29.3	2.2
塩干品	生産量	1,249	1,219	1,180	1,240	1,153	▲ 7.7	▲ 7.0
煮干し	生産量	1,310	1,779	1,398	1,307	1,322	0.9	1.1
生鮮冷凍水産物	生産量	21,040	25,395	28,530	42,703	30,757	46.2	▲ 28.0
その他	生産量	5,999	5,603	x	6,920	x	-	-

資料：農林水産省 水産加工統計調査

### 2) 水産物製造品出荷額

平成27年の水産物製造品出荷額は、前年と比べて8億6,100万円（9.5%）増の99億5,000万円となっています。

#### 水産物製造品出荷額の推移

単位：百万円

区分		H23	H24	H25	H26	H27	増減比(%)	
							H27/H22	H27/H26
合計	出荷額	17,694	x	x	9,089	9,950	-	9.5
ねり製品製造業	出荷額	2,217	2,486	2,654	2,575	2,116	▲ 15.8	▲ 17.8
塩干・塩蔵品製造業	出荷額	1,689	1,431	1,650	1,516	816	▲ 49.1	▲ 46.2
冷凍水産物製造業	出荷額	1,664	x	679	841	4,183	-	397.4
冷凍水産食品製造業	出荷額	9,763	x	x	460	700	2.6	52.2
その他	出荷額	2,361	3,114	3,577	3,697	2,135	▲ 30.3	▲ 42.3

資料：宮崎県 統計調査課「宮崎県の工業」

(5) 全国順位

※ 資料：平成28年漁業・養殖業生産統計

平成28年海面漁業養殖業都道府県別生産量及び生産額

単位（生産量：トン、生産額：百万円）

都道府県	生産量						生産額						
	計	順位	漁業	順位	養殖業	順位	計	順位	漁業	順位	養殖業	順位	
全 国	1	4,296,125		3,263,618		1,032,507		1,471,638		961,915		509,724	
北 海 道	2	861,203	1	749,912	1	111,291	2	300,014	1	249,394	1	50,620	3
青 森	3	227,916	5	107,003	9	120,913	1	68,184	6	42,004	5	26,180	7
岩 手	4	119,755	12	85,169	11	34,586	11	36,051	13	27,203	8	8,848	16
宮 城	5	247,737	3	163,191	6	84,546	4	75,985	5	52,651	4	23,335	9
秋 田	6	6,904	38	6,758	37	146	34	3,116	38	3,035	35	81	34
山 形	7	5,167	39	5,167	38	-	-	2,880	39	x	-	x	-
福 島	8	47,944	25	47,944	20	-	-	7,938	35	7,938	28	-	-
茨 城	9	244,372	4	244,372	3	x	-	18,672	26	x	-	x	-
千 葉	10	123,102	11	115,158	7	7,944	22	27,597	17	24,916	12	2,680	23
東 京	11	48,528	24	48,528	19	x	-	19,782	23	x	-	x	-
神 奈 川	12	35,510	28	34,537	23	973	27	18,149	27	17,689	17	460	28
新 潟	13	30,836	30	29,904	24	932	28	12,269	31	11,970	24	299	32
富 山	14	39,683	27	39,669	21	14	35	14,775	30	14,748	18	26	35
石 川	15	60,110	22	58,689	17	1,421	26	20,861	22	20,446	16	416	30
福 井	16	15,367	36	15,140	33	227	33	9,062	33	8,629	26	433	29
静 岡	17	185,665	7	183,378	4	2,287	25	56,756	7	54,675	3	2,081	24
愛 知	18	91,041	16	77,711	13	13,330	19	18,894	25	14,406	19	4,488	22
三 重	19	196,746	6	170,426	5	26,320	12	50,698	9	30,593	6	20,104	11
京 都	20	10,772	37	10,075	36	697	30	4,273	36	3,387	34	886	26
大 阪	21	18,777	35	18,254	28	523	31	4,153	37	4,001	33	152	33
兵 庫	22	125,518	10	55,861	18	69,657	6	51,120	8	30,179	7	20,941	10
和 歌 山	23	24,692	33	22,170	27	2,522	23	15,452	29	9,416	25	6,036	19
鳥 取	24	73,637	20	72,891	15	746	29	21,486	20	20,881	15	605	27
島 根	25	109,834	15	109,353	8	481	32	21,372	21	20,998	14	374	31
岡 山	26	26,552	32	4,055	39	22,497	15	8,413	34	2,675	36	5,738	20
広 島	27	116,419	13	16,724	31	99,695	3	26,404	18	7,449	29	18,955	13
山 口	28	29,013	31	26,654	25	2,359	24	16,246	28	14,263	20	1,983	25
徳 島	29	21,957	34	10,345	34	11,612	21	11,215	32	5,732	31	5,483	21
香 川	30	43,081	26	18,221	29	24,860	13	21,845	19	8,463	27	13,382	15
愛 媛	31	151,681	8	82,345	12	69,336	7	91,287	3	25,819	10	65,468	1
高 知	32	83,036	18	66,136	16	16,900	17	46,135	10	26,178	9	19,957	12
福 岡	33	72,630	21	26,064	26	46,566	10	30,190	16	12,101	23	18,089	14
佐 賀	34	86,559	17	10,176	35	76,383	5	33,623	15	5,393	32	28,230	6
長 崎	35	305,959	2	286,490	2	19,469	16	97,422	2	64,441	2	32,981	5
熊 本	36	76,944	19	18,219	30	58,725	8	42,108	11	6,168	30	35,940	4
大 分	37	58,807	23	35,278	22	23,529	14	37,380	12	13,518	21	23,862	8
宮 崎	38	114,124	14	101,748	10	12,376	20	34,049	14	25,613	11	8,437	17
鹿 児 島	39	125,834	9	73,742	14	52,092	9	76,249	4	21,459	13	54,790	2
冲 縄	40	32,705	29	16,158	32	16,547	18	19,532	24	12,163	22	7,369	18

平成28年漁業種別漁獲量

(※全国10位以内の漁業・魚種)

単位：トン

順位	中小型 まき網	近海まぐる 延縄	沿岸まぐる 延縄	遠洋かつお 一本釣り	近海かつお 一本釣り	沿岸かつお 一本釣り	ひき縄釣
1	長崎 106,278	宮城 10,191	宮崎 1,849	静岡 15,818	宮崎 18,363	高知 6,814	高知 3,745
2	島根 77,612	高知 9,942	沖縄 1,428	三重 11,629	高知 5,492	三重 1,227	沖縄 2,141
3	三重 73,250	宮崎 8,856	宮城 485	宮城 5,906	三重 3,871	愛媛 820	長崎 1,327
4	宮崎 41,387	沖縄 6,501	岩手 404	高知 5,566		沖縄 642	宮崎 921
5	鹿児島 31,193	大分 2,729	千葉 221	宮崎 3,296		鹿児島 486	福岡 623
6	愛媛 23,757	三重 1,105	青森 180			宮崎 482	兵庫 620
7	千葉 15,641	和歌山 304	高知 158			神奈川 146	三重 581
8	大分 13,535		北海道 79				千葉 501
9	大阪 12,644		東京 53				和歌山 489
10	石川 10,405						鹿児島 475
全国計	461,027	42,100	5,093	51,734	29,464	11,080	13,401
全国比	9.0%	21.0%	36.3%	6.4%	62.3%	4.4%	6.9%

\* 近海かつお一本釣り23年連続日本一（平成6年～）

平成28年魚種別漁獲量（海面漁業）

単位：トン

順位	海面漁業							
	まぐる類	びんなが	きはだ	かじき類	まかじき	めかじき	くろ かじき類	かつお
1	静岡 26,844	宮崎 9,232	静岡 17,374	宮城 3,435	宮崎 485	宮城 2,745	高知 527	静岡 71,655
2	宮城 19,258	高知 7,331	東京 8,522	高知 1,629	高知 267	三重 801	沖縄 480	東京 29,940
3	宮崎 17,034	三重 5,077	宮城 7,293	宮崎 1,429	宮城 212	高知 788	鹿児島 458	三重 26,734
4	高知 14,776	静岡 4,600	三重 5,122	鹿児島 1,275	千葉 189	宮崎 677	宮城 380	宮城 16,275
5	三重 13,206	宮城 3,831	宮崎 5,061	三重 1,231	長崎 139	神奈川 520	三重 281	宮崎 14,189
6	鹿児島 11,595	沖縄 2,819	沖縄 4,037	沖縄 854	鹿児島 88	鹿児島 483	宮崎 225	高知 14,104
7	東京 11,522	鹿児島 2,317	鹿児島 3,657	神奈川 799	三重 85	岩手 404	神奈川 185	神奈川 9,812
8	沖縄 9,965	大分 1,916	長崎 3,207	岩手 662	北海道 80	静岡 396	岩手 156	長崎 9,726
9	神奈川 6,770	青森 1,195	神奈川 2,915	静岡 583	沖縄 68	福島 334	福島 136	新潟 9,583
10	長崎 5,634	岩手 1,119	高知 2,826	福島 578	神奈川 61	東京 333	大分 122	鳥取 9,290
全国計	168,475	42,809	70,872	14,479	1,963	8,309	3,372	227,946
全国比	10.1%	21.6%	7.1%	9.9%	24.7%	8.1%	6.7%	6.2%



単位：トン

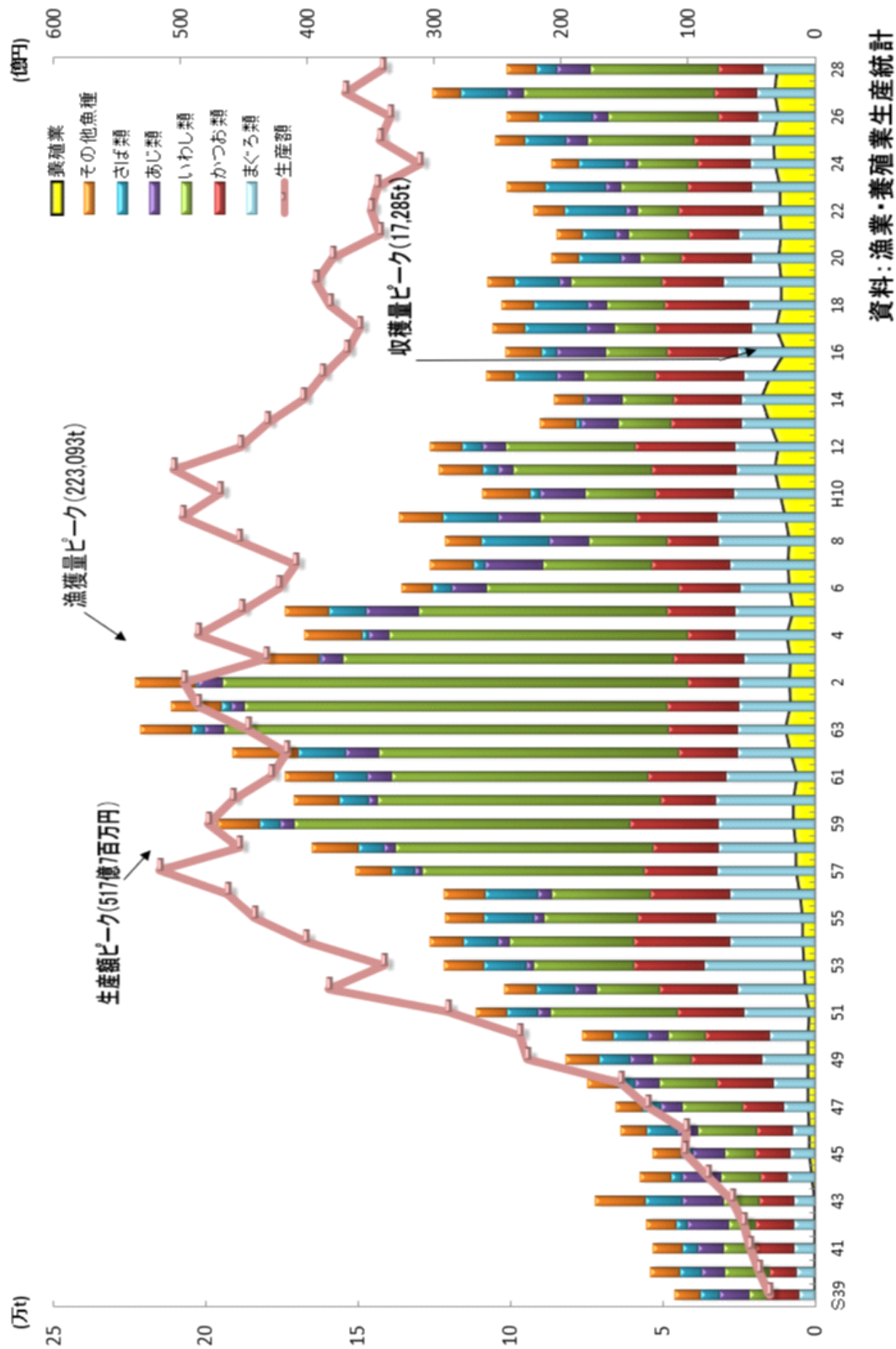
順位	海面漁業							
	いわし類	うるめいわし	しらす	あじ類	むろあじ類	まいわし	いせえび	さめ類
1	茨城 92,532	長崎 35,830	兵庫 12,516	長崎 54,996	宮崎 8,459	茨城 90,608	三重 247	宮城 16,686
2	長崎 86,117	宮崎 18,757	静岡 8,905	島根 24,244	鹿児島 4,565	三重 58,560	千葉 180	神奈川 1,924
3	三重 85,765	鹿児島 8,511	愛知 8,445	宮崎 11,007	和歌山 3,239	千葉 21,052	和歌山 147	北海道 1,899
4	愛知 49,848	三重 7,873	大分 4,093	鹿児島 7,092	長崎 2,209	長崎 19,780	静岡 128	青森 1,839
5	宮崎 42,072	愛媛 6,871	大阪 3,859	愛媛 6,071	大分 1,632	宮城 18,893	徳島 70	岩手 1,698
6	愛媛 35,250	高知 5,699	愛媛 3,664	鳥取 5,413	高知 1,554	愛知 18,764	長崎 60	富山 1,525
7	千葉 32,637	熊本 3,284	鹿児島 3,438	和歌山 4,373	愛媛 1,509	島根 18,378	宮崎 57	鹿児島 1,465
8	静岡 27,541	島根 2,510	和歌山 3,162	大分 3,848	兵庫 1,496	宮崎 16,462	鹿児島 50	高知 1,199
9	島根 24,564	静岡 2,386	徳島 3,037	千葉 3,657	静岡 833	静岡 15,448	東京 39	三重 597
10	鹿児島 23,471	大分 1,530	宮崎 2,217	石川 3,479	三重 393	福島 12,883	高知 35	宮崎 521
全国計	710,367	97,871	63,180	152,524	27,105	378,142	1,119	30,950
全国比	5.9%	19.2%	3.5%	7.2%	31.2%	4.4%	5.1%	1.7%

平成28年魚種別生産量（海面・内水面養殖業）

単位：トン

順位	海面養殖業						内水面養殖業		
	ぶり	かんぱち	まあじ	しまあじ	まだい	ひらめ	あゆ	こい	うなぎ
1	鹿児島 28,416	鹿児島 16,907	静岡 432	愛媛 1,838	愛媛 38,568	鹿児島 659	愛知 1,182	茨城 1,057	鹿児島 7,972
2	大分 17,223	愛媛 5,315	愛媛 112	高知 547	熊本 10,254	大分 578	和歌山 1,039	福島 912	愛知 4,742
3	愛媛 16,375	大分 2,495	宮崎 89	熊本 530	高知 4,985	愛媛 337	岐阜 882	宮崎 362	宮崎 3,255
4	宮崎 9,065	香川 2,434	熊本 53	大分 522	三重 4,955	長崎 158	滋賀 504	福岡 260	静岡 1,654
5	高知 6,473	宮崎 2,305	長崎 19	三重 209	長崎 2,554	愛知 124	栃木 330	群馬 165	三重 306
6	長崎 6,048	熊本 892	佐賀 18	宮崎 103	和歌山 1,527	宮崎 63	徳島 274	長野 157	徳島 301
7	熊本 5,952	徳島 405		長崎 86	鹿児島 958	山口 35	宮崎 248	山形 109	高知 251
8	香川 5,532	長崎 228		静岡 47	静岡 679	静岡 34	静岡 165	秋田 29	熊本 157
9	徳島 3,599				宮崎 590		熊本 158	熊本 19	大分 75
10	三重 2,626				香川 515		大分 125	新潟 9	愛媛 44
全国計	103,124	34,089	740	3,941	66,965	2,309	5,183	3,131	18,907
全国比	8.8%	6.8%	12.0%	2.6%	0.9%	2.7%	4.8%	11.6%	17.2%

## (6) 海面漁業生産量・生産額の推移



## 2 漁業生産構造

### (1) 漁船の隻数

平成29年末現在の県内の海面における漁船登録隻数は2,404隻となっています。このうち動力漁船（船外機船を含む）は、2,395隻で全体の99.6%を占めており、1隻当たりの平均トン数は6.3トンとなっています。動力漁船を船質別にみると、鋼船0.3%（8隻）、木船1.0%（24隻）、FRP船98.7%（2,363隻）となっています。

また、船齢別構成では、船齢15年以上の占める割合が大きく増加し、動力漁船の高齢化が進んでいます。

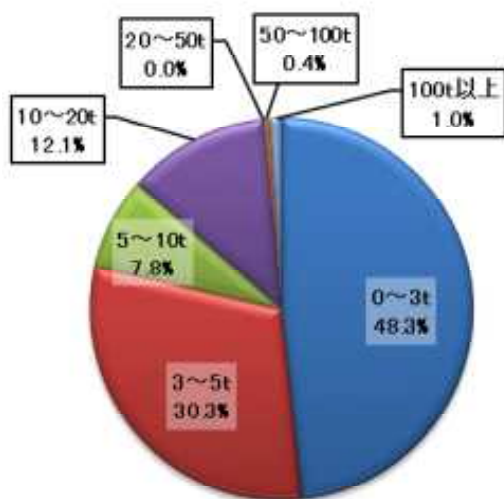
#### 漁船登録隻数の推移

単位：隻

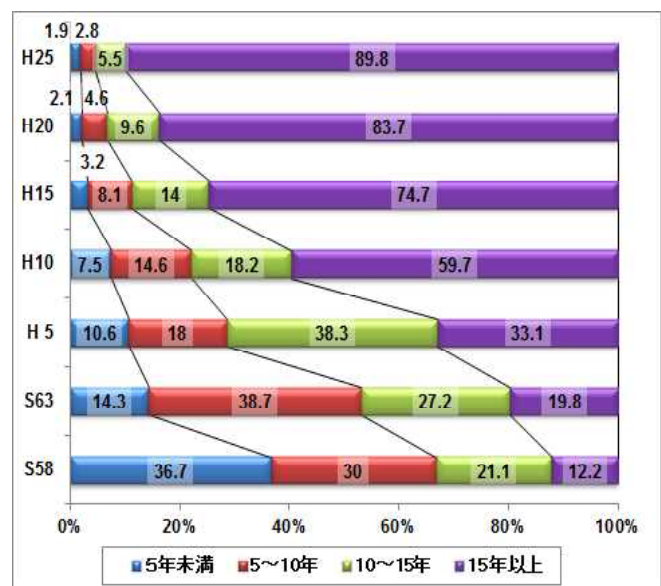
年	総隻数	無動力 漁船 隻数	総動力 漁船 隻数							
				0～3 t	3～5 t	5～10 t	10～20 t	20～50 t	50～100 t	100 t 以上
19	2,971	6	2,965	1,398	1,018	205	289	2	13	40
20	2,889	6	2,883	1,363	982	194	293	2	11	38
21	2,835	6	2,829	1,346	941	202	292	2	10	36
22	2,789	6	2,783	1,321	922	199	293	2	10	36
23	2,775	6	2,769	1,320	902	201	300	2	8	36
24	2,723	7	2,716	1,305	871	200	296	2	10	32
25	2,659	7	2,652	1,277	841	197	294	2	11	30
26	2,604	7	2,597	1,252	817	197	291	2	9	29
27	2,534	7	2,527	1,215	790	193	293	2	8	26
28	2,488	7	2,481	1,199	765	196	292	1	10	25
29	2,404	9	2,395	1,156	726	188	290	1	10	24

資料：水産政策課集計

平成29年末  
登録動力漁船のトン数別構成比



動力漁船の船齢別構成の推移



## (2) 漁業経営体数

### 1) 主とする漁業種類別経営体数

本県における漁業経営体数は平成20年には1,402経営体でしたが、平成25年は、1,153経営体（249経営体、17.8%減）となっています。

主とする漁業種類別経営体数は、経営体が営んだ漁業種類のうち水揚金額が最も多かった漁業種類によって分類しており、その年の気象や海況の条件、漁獲量の減少、魚価の動向によって変動する性格を有しています。

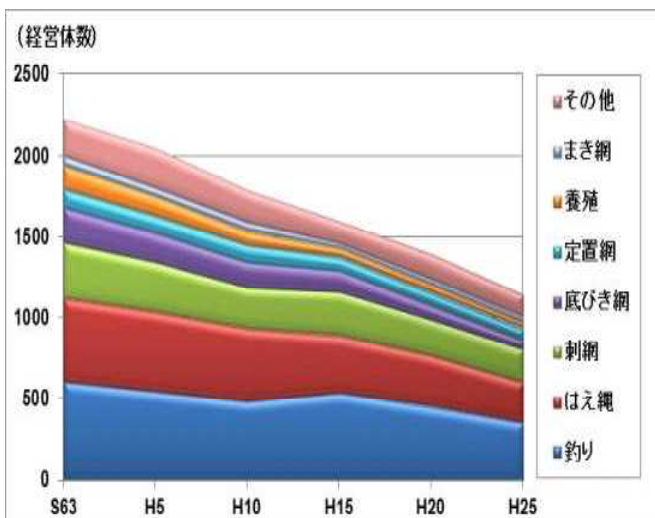
主とする漁業種類別経営体の推移

単位：経営体

年度	計	底びき網	まき網	船びき網	刺網	かつお一本釣	その他の釣	まぐろはえ縄	その他のはえ縄	定置網	採貝採藻	その他海面漁業	海面養殖
S63	2,232	211	59	27	347	66	541	161	353	114	121	84	148
H5	2,051	180	54	27	309	52	492	182	312	103	82	137	121
H10	1,792	159	57	25	259	73	415	177	266	104	93	77	87
H15	1,603	133	33	24	272	48	487	175	182	84	53	56	56
H20	1,402	97	34	26	228	46	409	165	144	78	70	59	46
H25	1,153	63	33	23	201	38	317	148	101	73	58	59	39
対20年比(%)	82.2	64.9	97.1	88.5	88.2	82.6	77.5	89.7	70.1	93.6	82.9	100.0	84.8
H25構成比(%)	100.0	5.5	2.9	2.0	17.4	3.3	27.5	12.8	8.8	6.3	5.0	5.1	3.4

資料：漁業センサス

主とする漁業種類別経営体の割合



平成25年主とする漁業種類別経営体の割合



## 2) 漁業層別経営体数

平成25年の海面漁業経営体数を漁業層別にみると、全経営体数の約83%を占める沿岸漁業層は960経営体で、平成20年に比べ232経営体(19.5%)減少しました。

中小漁業層(かつお・まぐろ・まき網漁業)は193経営体で、平成20年に比べ17経営体(8.1%)減少しました。

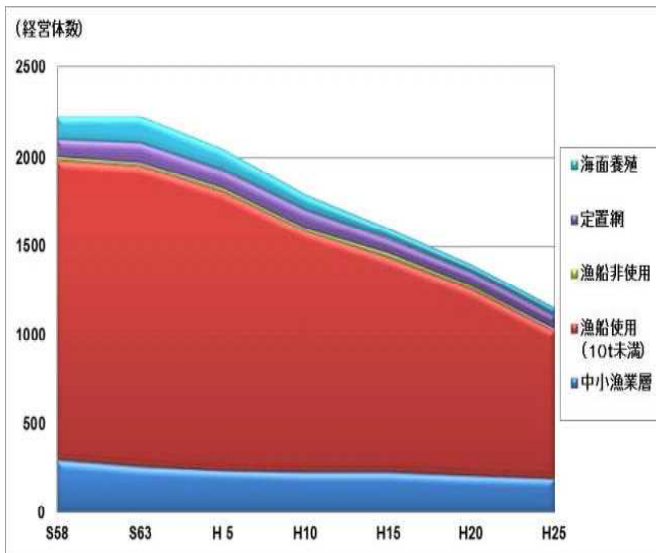
経営体階層別及び漁業層別経営体数

単位：経営体

年	計	経営体階層別経営体												漁業層別経営体				
		漁船非使用	無動力漁船	船外機付漁船	漁船使用										定置網	海面養殖	沿岸漁業層	中小漁業層
					動力	1トン未満	1~3	3~5	5~10	10~20	20~30	30~50	50~100	100トン以上				
S58	2,237	21	1	-	174	465	921	128	101	16	59	81	39	98	130	1941	296	
S63	2,232	17	-	-	233	442	873	146	103	5	44	78	28	114	148	1974	258	
H5	2,051	16	-	-	224	372	822	156	107	6	31	64	29	103	121	1814	237	
H10	1,792	14	-	-	171	299	727	164	114	7	30	40	35	104	87	1566	226	
H15	1,603	23	-	-	138	275	667	130	126	6	28	29	41	84	56	1373	230	
H20	1,402	19	-	79	48	241	581	100	122	6	31	22	29	78	46	1192	210	
H25	1,153	16	-	79	18	175	463	97	113	8	30	18	24	73	39	960	193	

資料：漁業センサス

漁業層別経営体数の推移



平成25年漁業層別経営体数の割合



### (3) 漁業就業者数

#### 1) 新規就業者数

平成29年に新たに就業した漁業者は、53人でした。

過去5年間の新規就業者内訳

単位：人

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
中学校卒業者	1	1	3	2	1	1
高校・大学・専門学校卒業者	8	14	3	4	12	22
県立高等水産研修所	8	10	8	5	9	10
他産業からの就業者等	14	29	21	34	33	20
合計	31	54	35	45	55	53

#### 2) 年齢別就業者数

本県の漁業就業者の年齢構成については、10代、20代が非常に少なく、60代以上が57%を占めており、年々高齢化が進んでいます。

平成28年正組員数年齢別構成（法人を除く）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
正組員数 (人)	3	65	214	273	383	1,241	2,179
割合	0.1%	3.0%	9.8%	12.5%	17.6%	57.0%	—

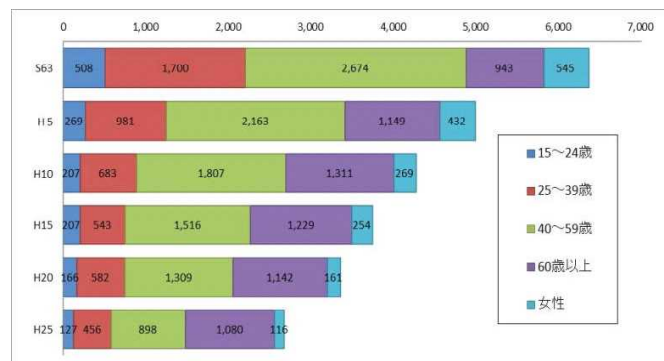
資料：宮崎県水産業協同組合要覧

#### 3) センサス年ごとの就業者数の推移

5年に一度実施される漁業センサスの結果を基に漁業就業者数の推移を見てみると、平成25年は昭和63年に比較して3,693人（58%）減少しました。

また、男子就業者について年齢別にみると、平成25年は昭和63年に比較して、65歳以上が226人（49.9%）増加しています。

男女・年齢別漁業就業者数の推移



男女・年齢別漁業就業者数

区分	総計	男						女
		小計	15~24歳	25~39歳	40~59歳	60歳以上	うち65歳以上	
(セ) S63	6,370	5,825	508	1,700	2,674	943	453	545
(セ) H5	4,994	4,562	269	981	2,163	1,149	555	432
(セ) H10	4,277	4,008	207	683	1,807	1,311	749	269
(セ) H15	3,749	3,495	207	543	1,516	1,229	847	254
(セ) H20	3,360	3,199	166	582	1,309	1,142	792	161
(セ) H25	2,677	2,561	127	456	898	1,080	679	116
対S63年比(%)	42.0	44.0	25.0	26.8	33.6	114.5	149.9	21.3
H25構成比(%)	100.0	95.7	4.7	17.0	33.5	40.3	25.4	4.3

資料：漁業センサス

## (4) 水産団体

### 1) 水産団体の状況

平成29年3月末時点の本県の水産業協同組合は、単位組合が74組合あり、その内訳は、沿海漁協20組合、内水面（河川）漁協40組合、漁業生産組合11組合、業種別組合1組合、水産加工業協同組合2組合となっています。

また、連合会は、県漁業協同組合連合会、県信用漁業協同組合連合会、県内水面漁業協同組合連合会、県無線漁業協同組合連合会があり、本県水産業協同組合の中核的役割を果たしています。

沿海漁協については、厳しい経営環境の中、漁業生産額や漁業者（組合員）などの減少が続いているため、今後とも漁業・漁村の中核組織としての役割を果たせるよう、県漁業協同組合連合会などの系統団体が中心となって地域連携による事業の合理化等の機能・基盤強化の取組を行っています。

#### 水産団体の状況

(平成29年3月末)

組織別	事業別組合数	現在数	事業別組合数									
			信用事業	共済事業	購買事業	販売事業	製氷冷凍冷蔵事業	漁業自営	加工事業	漁業指導事業	無線事業	
単位組合	沿海漁協	出資	20	0	17	19	18	11		7	20	2
		非出資										
		計	20	0	17	19	18	11	0	7	20	2
	内水面漁協	出資	7						1		7	
		非出資	33								33	
		計	40	0	0	0	0	0	1	0	40	0
	沿海・内水面漁協計		60	0	17	19	18	11	1	7	60	2
	業種別漁協	出資	1			1					1	
		非出資										
		計	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
漁協計		61	0	17	20	18	11	1	7	61	2	
漁業生産組合		11							11			
水産加工業協同組合		2			2	1					1	
単協計		74	0	17	22	19	11	12	7	62	2	
連合会	漁業協同組合連合会	出資	2			2	1	1			2	
		非出資	1									1
		計	3	0	0	2	1	1	0	0	2	1
	信用漁業協同組合連合会	1	1									
連合会計		4	1	0	2	1	1	0	0	2	1	

1 出資漁業協同組合連合会には大臣認可の2連合会を含む

2 出展：「都道府県知事認可水産業協同組合年次報告」参照

### 2) 沿海地区漁業協同組合の組織状況（1組合平均）

区分	組合員数	職員	貯金	貸付金	購買	販売	出資金
	人	人	千円	千円	千円	千円	千円
本県	156.0	10.20	2,255,628	1,635,557	219,888	1,485,803	187,792
全国平均	327.9	12.87	9,734,165	1,099,270	205,456	1,477,976	218,440

1 出展：平成27年度の水産業協同組合統計表を参照。

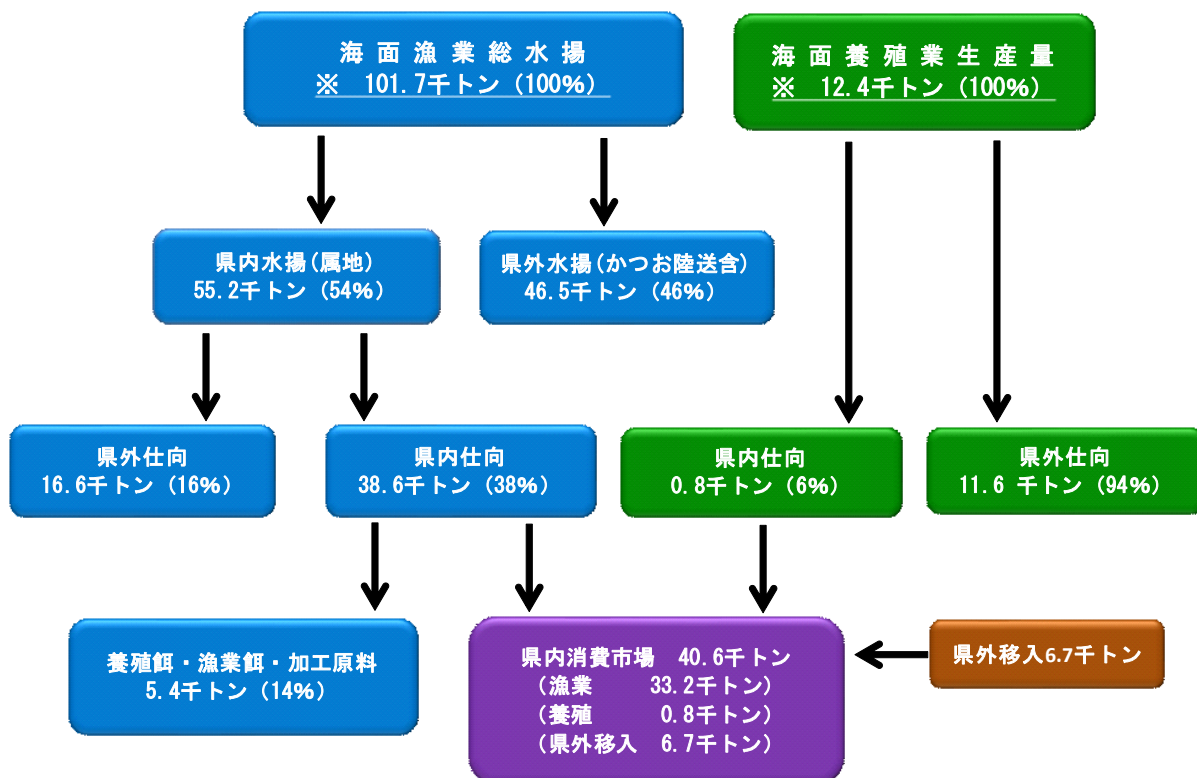
2 本県沿岸地区漁協の1組合平均数値については、事業実施組合数に応じ、各項目の合計数を除いた数値。（販売の数値については、受託販売品取扱高を母数とする。）

### 3 水産物の流通

#### (1) 水産物流通の現状

##### 1) 出荷先別割合

海面漁業の総水揚げ101,748トンのうち、54.0%が県内に水揚げされ、46.0%が県外に水揚げされています。海面養殖業については、生産量12,376トンのうち、94.0%が県外仕向となっています。



資料：実数については、農林水産省「平成28年漁業・養殖業生産統計」を用い、「漁協・市場聞き取り調査」及び「地方卸売市場実態調査」の結果から算出した仕向先比率を用いて仕向量を推定。



## (2) 水産物卸売市場の現状

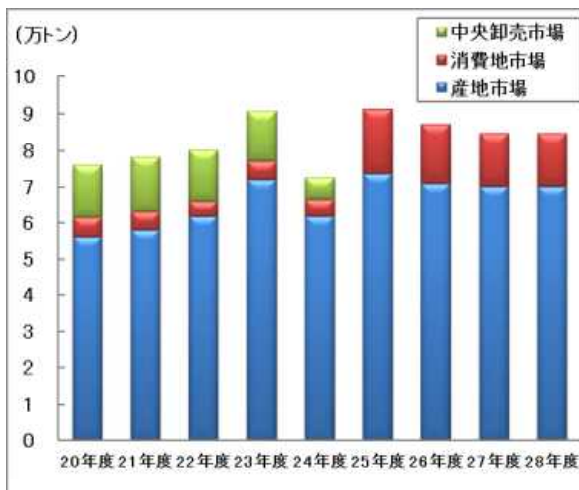
県内には、消費地市場（5市場）、産地市場（14市場）があります。

平成28年度の県内市場の取扱量は合計84,670トンで、取扱金額については、合計19,975百万円でした。

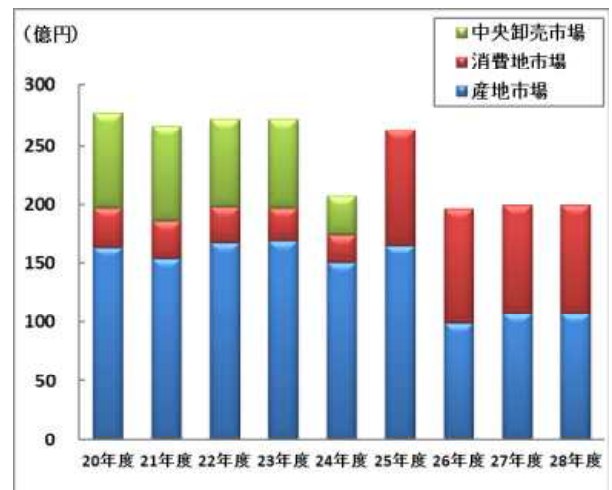
市場名	取扱高(27年度)		取扱高(28年度)		主要品目 (鮮魚)	
	量 (トン)	金額 (百万円)	量 (トン)	金額 (百万円)		
消費地市場	宮崎市公設地方卸売市場(株)宮崎魚市場	11,445	7,468	10,559	7,183	カツオ、マグロ類、ブリ類
	地方卸売市場(株)延岡魚市場	2,588	1,093	2,321	937	アジ類、サバ類、ブリ類
	地方卸売市場(株)日向魚市場	269	174	223	87	アジ類、カツオ、マグロ類
	地方卸売市場(株)小林魚市場	407	350	396	341	ブリ類、アジ類、マグロ類
	都城市公設地方卸売市場(株)都城中央魚市場	1,140	847	1,039	721	ブリ類、アジ類、マグロ類
	小計	15,849	9,932	14,538	9,269	
産地市場	北浦漁業協同組合地方卸売市場	62,827	5,260	52,538	4,800	サバ類、イワシ類、ブリ類
	島浦町漁業協同組合地方卸売市場	12,794	612	8,067	496	サバ類、イワシ類、ブリ類
	延岡市漁業協同組合地方卸売市場	404	268	436	239	シラス、アオメエソ、タチウオ
	庵川漁業協同組合地方卸売市場	1,588	675	1,322	639	イワシ類、アジ類、タチウオ
	門川漁業協同組合地方卸売市場	374	171	394	182	シラス、ハモ、カツオ
	日向市漁業協同組合地方卸売市場	1,730	819	1,589	727	マグロ類、タチウオ、サワラ
	日向市漁業協同組合幸協支所地方卸売市場	日向市漁業協同組合地方卸売市場に含む				シラス、エビ類、サワラ
	川南町漁業協同組合地方卸売市場	412	275	400	283	シイラ、サワラ、ニベ類
	日南市漁業協同組合地方卸売市場	2,386	2,211	1,984	1,720	マグロ類、シイラ、トビウオ類
	南郷漁業協同組合地方卸売市場	3,676	1,400	3,163	1,409	カツオ、マグロ類、アジ類
	串間市東漁業協同組合地方卸売市場	6	10	6	5	トビウオ類、タイ類
	串間市漁業協同組合地方卸売市場	81	125	126	136	シラス、エビ類、タイ類
	都農町漁業協同組合小規模卸売市場	105	65	99	66	フグ類、タイ類、ハモ
	串間市東漁業協同組合小規模卸売市場	11	5	8	4	トビウオ類、イカ類
小計	86,394	11,895	70,132	10,706		
合計	102,243	21,827	84,670	19,975		

資料：地方卸売市場実態調査

水産物取扱量



水産物取扱高



※平成26年度分調査より、市場を通過しない養殖生産物は計上していない

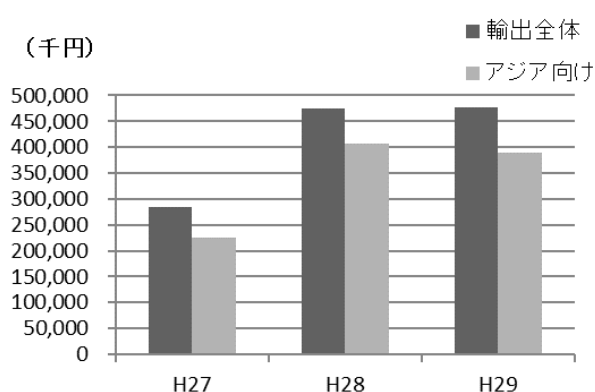
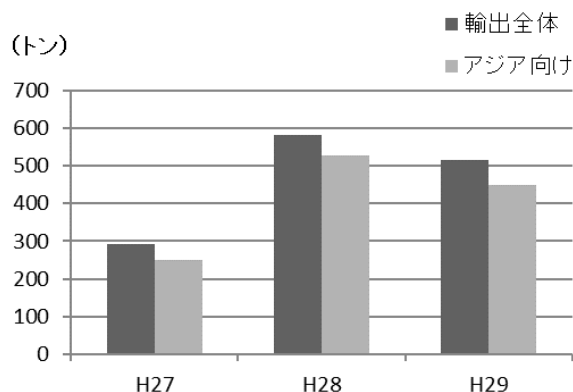
### (3) 水産物輸出の現状

#### 1) 水産物輸出数量と輸出額の推移 (概数)

数量 (トン)、金額 (千円)

水産物	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
輸出合計	293	283,375	582	474,707	514	475,989
アジア向け	249	224,401	528	407,250	450	388,658

\* 水産政策課調べ



#### 2) 輸出先国の推移

年度	輸出先国
H25	香港、シンガポール、台湾、EU、韓国
H26	香港、EU、マレーシア、オーストラリア、ベトナム、タイ、韓国、中国、台湾、インドネシア、シンガポール
H27	香港、EU、タイ、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、ドバイ、オーストラリア、中国、シンガポール、ノルウェー、インドネシア、ロシア
H28	香港、EU、タイ、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、ドバイ、オーストラリア、中国、シンガポール、ノルウェー、インドネシア、ロシア、モルディブ
H29	香港、EU、タイ、台湾、韓国、ベトナム、マレーシア、ドバイ、中国、シンガポール、スイス、インドネシア、ロシア、モルディブ、アメリカ

\* EUは一カ国とする

#### 3) 主要登録必要国の認定・登録施設数

	国名	全国	宮崎県
認定施設	アメリカ	365	2
認定施設	EU	39	1
登録施設	中国	1547	9
登録施設	ロシア	425	3
登録施設	ウクライナ	154	0
登録施設	ナイジェリア	129	0
登録施設	ブラジル	77	1
登録施設	ベトナム	665	4
登録施設	韓国	98	0

\* 水産政策課調べ (平成30年4月現在)

## 4 生産基盤

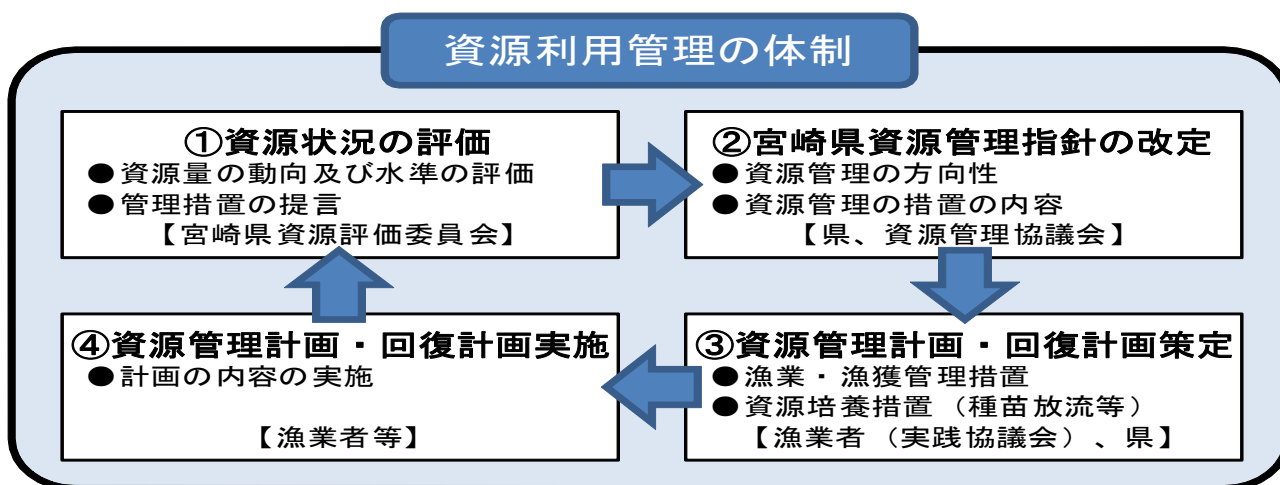
### (1) 適切な資源管理の推進

#### 1) 資源管理体制の概要

平成23年8月22日に策定した「宮崎県における水産資源の利用及び管理に関する基本方針」に基づいた資源管理を実施しています。

この体制では、客観的に評価した水産資源の状況に応じた資源管理の取組を県漁連、漁協、漁業者で構成される宮崎県資源管理実践漁業者協議会（以下、「実践協議会」）において協議し、決定した管理措置を実践し、その成果についても、資源評価を繰り返し検証することで、必要に応じて取組内容の見直しを行い、資源管理の実効性を高めています。

資源管理は、資源評価の結果に応じて改定される「宮崎県資源管理指針」に沿って、漁具・漁法の制限や禁漁期・禁漁区の設定、十分に成長して経済価値を高めた資源を利用するための小型魚の保護措置（再放流サイズの設定など）、産卵を控えた親魚の保護、資源培養措置としての種苗（稚魚）の放流などを組み合わせて取り組まれています。



#### 2) 平成29年度の資源評価結果と資源管理指針の改定

これまでに宮崎県資源評価委員会において資源評価された21種類の沿岸資源のうち、平成29年度に再評価された10種類について、資源状況を踏まえた資源管理指針の見直しと改定を行いました。

#### 3) 積極的な増殖措置（稚魚の放流等）

沿岸資源の回復を図るための積極的な増殖措置として、ヒラメ・マダイ・カサゴ・アマダイ等の人工種苗（稚魚）の放流を行い、放流水域における他の資源管理措置との連携の下で、水産資源の安定化を図っています。また、稚魚等の成育の場として重要な藻場・干潟等の保全など、漁場の基礎生産力を向上させる施策に取り組んでいます。

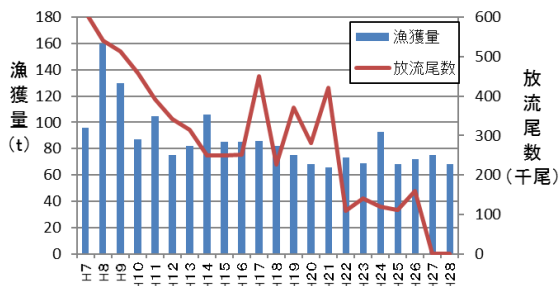
#### 4) 宮崎海域アマダイ類の資源回復

高級魚であり、本県沿岸の重要な水産資源であるアマダイ類の漁獲量は、平成元年の246トンピークを以て以後減少し、近年では10トン前後と低迷しています。このアマダイ類の資源を回復し、漁獲量の増大を図るため、平成28年10月25日に宮崎海域アマダイ類の資源回復計画を策定、公表しました。この計画に基づき、1

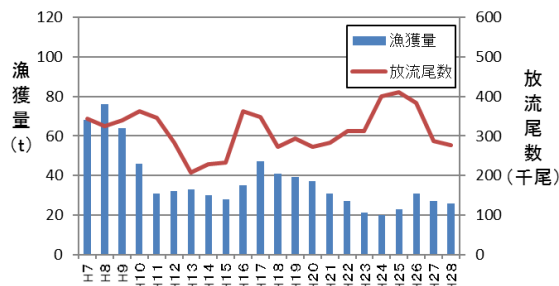
～3ヶ月間の休漁や小型の釣り針の使用制限、漁獲量の上限の設定といった漁獲制限により産卵する親魚の量を増やすとともに、種苗放流を行い、資源回復、漁獲の増大を図っています。

### 種苗放流

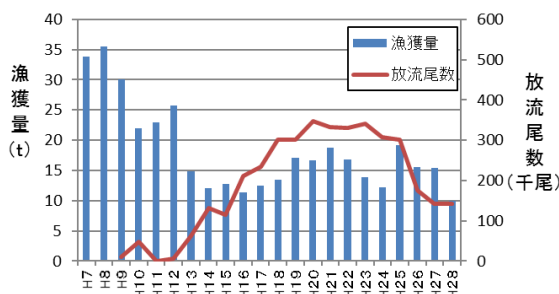
マダイの漁獲量と放流尾数の推移



ヒラメの漁獲量と放流尾数の推移



カサゴの漁獲量と放流尾数の推移



### 藻場・干潟等保全活動

市町村名	対象資源	主な活動組織名	実施計画面積	主たる活動項目
延岡市	藻場	北浦地区藻場保全会	5.5ha	食害生物の除去(ウニ類) 保護区域の設定
	サンゴ礁	島野浦サンゴ礁保全会	8.0ha	保護区域の設定 サンゴの移植
	藻場	南浦藻場保全会	5.5ha	母藻の設置 食害生物の除去(ウニ類)
	干潟	妙見湾干潟保全会	9.7ha	耕うん 稚貝等の沈着促進
門川町	藻場	庵川藻場干潟保全会	5.0ha	食害生物の除去(ウニ類) 母藻の設置
	藻場	門川湾を再生する会	1.3ha	食害生物の除去(ウニ類) 保護区域の設定
日向市	藻場	平岩採介藻グループ	9.4ha	食害生物の除去(ウニ類) 浮遊堆積物の除去
串間市	藻場	串間市崎田地区藻場保全会	6.0ha	母藻の設置 食害生物の除去(ウニ類)

## (2) 保護水面

水産資源の生息環境を良好な状態で保全し、維持するとともに、対象生物を積極的に保護培養することにより、生産基盤の確保と資源の維持増大を図っています。本県では水産資源保護法に基づき、次表の区域を保護水面として指定し、保護を進めています。

名称	区域	指定年月日	面積・長さ
チョウセンハマグリ	日向市地先	昭和43年10月16日	1.32km <sup>2</sup>
アユ	延岡市五ヶ瀬川	昭和41年12月13日	22km

### (3) 内水面資源の増殖

内水面漁協は内水面漁場管理委員会指示に基づきウナギ、アユ、ヤマメ等の放流を行うほか、各漁協の自主的な放流を実施しています。また、県では、ヤマメ、ウナギ、アユ等の放流や魚道改良、産卵場造成、石倉設置等による資源の増殖を支援しています。

#### 河川放流実績

単位：尾

年度	アユ	ウナギ	コイ	フナ	ヤマメ	モクズガニ
H11	2,276,800	534,120	963,744	31,000	545,419	105,768
H12	2,520,000	686,370	841,262	40,970	501,686	84,816
H13	2,366,660	635,500	780,221	45,270	529,680	83,620
H14	2,913,400	857,450	749,182	29,815	759,978	70,520
H15	2,852,600	822,700	651,032	34,930	577,226	68,680
H16	3,446,980	1,043,580		66,840	515,150	112,280
H17	3,500,360	914,990		82,170	612,450	86,312
H18	3,961,260	1,054,500		95,973	631,337	77,484
H19	3,852,180	1,107,050		111,967	585,957	135,640
H20	3,953,340	905,710		97,567	623,883	113,180
H21	3,781,940	922,950		71,156	626,485	103,940
H22	4,769,520	369,060		23,250	801,251	118,780
H23	3,990,360	728,500		47,750	684,890	92,680
H24	4,646,160	176,150		58,610	833,250	113,820
H25	4,709,900	213,950		61,114	780,867	163,160
H26	4,657,260	568,080		28,600	732,669	145,812
H27	4,576,720	516,500		30,000	780,448	131,160
H28	3,848,000	99,540	4,010	15,600	735,298	124,960

※放流尾数の把握が困難な魚種については、放流数量を1尾当たりの重量で除して算出  
(換算値：アユ5g/尾、ウナギ10g/尾 (H28からは50g/尾)、モクズガニ25g/尾)

資料：水産政策課調べ



放流の様子

## (4) 水産基盤（漁港・漁場）の整備

### 1) 漁場

本県沿岸地形は単調で、湾入に乏しく、また海底地形においても天然礁に恵まれず、魚類等の滞留性に欠けるため、従来から魚礁設置及び増養殖場造成等の基盤整備事業を展開してきました。

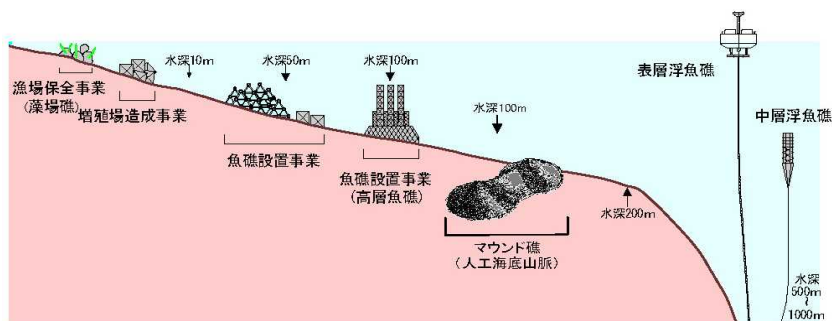
本県では、昭和51年度から平成13年度まで実施した沿岸漁場整備開発事業と平成14年度に着手した水産基盤整備事業により魚礁漁場、増殖場、養殖場の造成や漁場の保全を積極的に推進してきました。

平成21年度からは、本県初となる、マウンド礁（人工海底山脈）を2地区整備し、資源の基礎生産力の向上を図っており、平成29年度には、表層型浮魚礁の更新、「南部浅海増殖場（串間工区）」の餌料培養型増殖礁を設置、藻場ビジョンの計画策定及び既存魚礁の機能強化に着手したところです。

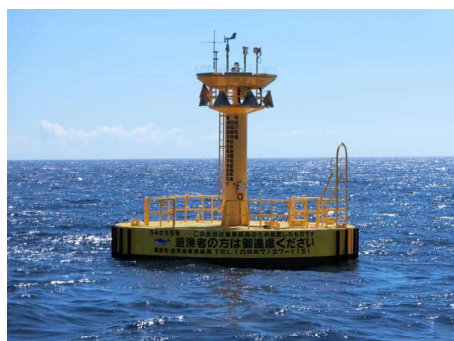
また、ICTを利用した操業の効率化の実現に向けて、漁業用としては国内初の海洋レーダーの整備に着手したところです。

#### 漁場整備種類毎の整備実績

種類	概要	整備実績
漁場保全	養殖場の海水交換を促進するための浚渫、藻場造成	36 ha
増殖場造成	水産生物の隠れ場、産卵の場等を供給するための環境改善	511 ha
魚礁漁場造成	既存の漁場、天然礁を補完するためのコンクリートブロック等の耐久性資材による魚礁の設置	3,057 千空m <sup>3</sup>
養殖場造成	養殖漁場の拡大を行うための消波堤の設置	273 ha
マウンド礁	人工海底山脈の造成により整備される漁場	121,771 空m <sup>3</sup>



日向灘における一体的な漁場整備イメージ図



うみさち5号  
(2017年12月更新)



着定基質投入前状況  
(南部浅海増殖場 串間工区)

## 2) 漁港

漁港整備長期計画の経緯（修築・改修・水産基盤整備）

計画名	総事業費(千円)	漁港名
第1次整備	284,850	油津漁港外 5漁港
第2次整備	803,983	青島漁港外 8漁港
第3次整備	1,278,516	青島漁港外 11漁港
第4次整備	1,879,698	油津漁港外 13漁港
第5次整備	3,237,593	門川漁港外 14漁港
第6次整備	10,622,620	目井津漁港外16漁港
第7次整備	15,635,572	目井津漁港外14漁港
第8次整備	20,612,972	北浦漁港外 14漁港
第9次整備	33,501,923	島野浦漁港外20漁港
第1次漁港漁場整備	16,382,831	川南漁港外 17漁港
第2次漁港漁場整備	9,849,743	川南漁港外 16漁港

第3次漁港漁場整備長期計画（平成24年度～）

事業名	事業港数	漁港名
水産流通基盤整備事業	5	北浦漁港外 4漁港
水産物供給基盤機能保全事業	21	北浦漁港外 20漁港
漁港施設機能強化事業	10	島野浦漁港外 9漁港
漁港環境整備事業	2	油津漁港外 1漁港
港整備交付金	4	市木漁港外 3漁港

漁港の種類

※1種11港、2種5港、3種5港、4種2港

漁港名	北 浦	宮之浦	島野浦	土々呂	門 川	油 津	目井津	南 浦
種 類	4	4	3	3	3	3	3	2
漁港名	川 南	青 島	大堂津	都 井	都 農	富 田	野 島	鶯 巢
種 類	2	2	2	2	1	1	1	1
漁港名	富 土	宮浦(鵜戸)	鵜 戸	夫婦浦	市 木	本 城	福島高松	
種 類	1	1	1	1	1	1	1	

第1種漁港…その利用範囲が地元の漁業を主とするもの

第2種漁港…その利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しないもの

第3種漁港…その利用範囲が全国的なもの

第4種漁港…離島その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの

## (5) 共同利用施設の整備

水産物の安定供給の確保と水産業の健全な発展を目的に、漁業経営構造改善事業や産地水産業強化支援事業(強い水産業づくり交付金)を活用し、漁業生産環境の改善に必要な施設の整備及び持続的な漁業生産体制を構築するのに必要な共同利用施設等の整備を進めています。

また、ロケット打ち上げに伴う種子島周辺海域での操業規制の影響緩和を目的とした種子島周辺漁業対策事業により、平成29年度は、宮崎市漁協の冷凍冷蔵施設の更新、串間市東漁協の燃油施設の更新の他9件の共同利用施設整備への補助を行いました。

### 1) 荷さばき施設

荷さばき施設とは、漁獲物の選別、計量、入札までの保管、入札、荷造り、発送等の作業を行う施設です。県内22港(※)に整備されています。

(※共同利用施設のある県内の漁港、港湾の数です。)



島浦町漁協の衛生管理型荷さばき施設と魚函積機

### 2) 漁具保全施設

漁具保全施設とは、漁業者が使用する漁具の整備作業の効率化や漁具の延命化を目的とした施設です。



日南市漁協の漁具保全施設



### 3) プレジャーボート係留施設

漁港を利用している漁船とプレジャーボートの係留場所を分離し、漁船の漁業活動を円滑にするための施設です。県内1箇所に整備されています。



延岡市漁協のプレジャーボート係留施設

### 4) 地域産物販売提供施設

地域産物販売提供施設とは、地産地消を推進し、魚食普及や消費拡大等を目的に直販施設や地域水産物を提供する食堂を整備した施設です。県内7か所に整備されています。

施設名	開設者	形態	開設年月
魚乃里 ぎょれん丸	宮崎県漁連	直販所、レストラン	H19. 1
ふれあい館	島浦町漁協	直販所	H15. 4
海の駅 ほそしま	日向市漁協	直販所、レストラン	H20. 11
直売所 通浜	川南町漁協	直販所	H27. 3
漁師の味 港あおしま	宮崎市漁協	直販所、レストラン	H15. 3
港の駅 めいつ	南郷漁協	直販所、レストラン	H17. 2
港の駅 いままち	串間市漁協	直販所	H26. 7



直売所 通浜 (H27.3月開設。H25,26年度種子島周辺漁業対策事業)

## (6) 漁業の免許・許可

### 1) 漁業権漁業

海面における漁業権は、定置漁業11件、区画漁業20件、共同漁業35件が免許されています。定置漁業は県北及び県南においてブリ等を対象に、区画漁業は県北のリアス式海岸や串間市地先でブリ、カンパチ、タイ等の魚種を主体に営まれています。また、共同漁業はアワビ、ウニ漁業等の第1種、小型定置や磯建網漁業等の第2種が営まれています。内水面における漁業権は、区画漁業が8件、共同漁業が30件免許されています。区画漁業は一ツ瀬川においてコイ養殖が営まれています。また、共同漁業はアサリ、ハマグリ、シャコ漁業等の第1種、アユ、コイ、ウナギ、ヤマメ、モクズガニ漁業等の第5種が営まれています。

#### 海面における漁業権数

漁業権名	定置漁業権		区画漁業権						共同漁業権				
漁業種類	定置漁業	合計	第1種区画漁業						合計	第1種共同漁業	第2種共同漁業	第3種共同漁業	合計
漁業の名称	ぶり雑魚定置漁業		魚類小割式養殖業	くろまぐろ小割式養殖業	垂下式養殖業	藻類養殖業	真珠養殖業	あわび等漁業		雑魚小型定置漁業	雑魚地曳網漁業等		
件数	11	11	(38)	(2)	(17)	(1)	(1)	20	18	17	0	35	

(注)区画漁業権については、複数の区画漁業を同一区画漁業権として管理する方式へ変更したため合計と合致しない

#### 内水面における漁業権数

漁業権名	区画漁業権		共同漁業権		
漁業種類	第1種区画漁業	合計	第1種共同漁業	第5種共同漁業	合計
漁業の名称	こい小割式養殖業		あさり漁業等	あゆ漁業等	
件数	8	8	10	20	30

### 2) 許可漁業等

許可漁業には、大臣許可漁業及び知事許可漁業等があり、約1,000件が許可されています。

大臣許可漁業は、本県の主幹漁業の一つであるかつお・まぐろ漁業が主体であり、大型船は県南地区を主体に、また、20トン未満船は日向、川南、日南地区等で多く営まれています。知事許可漁業は、下表のとおり種々ありますが、イワシ、アジ、サバを対象とする中型まき網漁業は県北地区を主体に営まれるとともに、その他大半の漁業は各種許可漁業や自由漁業との組み合わせにより操業しています。

また、海区漁業調整委員会による届出・承認漁業として、かさご延縄届出、あまだい延縄届出と浮魚礁利用承認の3種類があり、約500件が届出・承認されています。

#### 大臣許可（認可も含む）

種類	かつお・まぐろ			沖合底ひき網	大中型まき網	小計	沿岸まぐろはえ縄(届出)	合計
	遠洋(120 <sup>トン</sup> 以上)	新近海(10~120 <sup>トン</sup> )	新小型(10~20 <sup>トン</sup> )					
件数	5	31	67	0	2	105	26	131
経営体数	5	28	60	0	2	95	26	121

#### 知事許可

種類	中型まき網	小型まき網	小型底びき	機船船びき	棒受網	流し刺網	まき刺網	固定式刺網	その他	合計
件数	31	29	163	50	34	185	153	169	86	900

種類	かさご延縄届出	あまだい延縄届出	浮魚礁利用承認
件数	124	68	319

## (7) 漁船の安全操業の確保

### 1) 本県の現状

平成20年4月1日からは「船舶職員及び小型船舶操縦者法」関係省令改正により、ライフジャケットの着用義務範囲が拡大されましたが、依然として海難事故が発生し、尊い人命が失われていることから、効果的な海難事故対策が必要です。

特に、近年にあっては死亡を伴う海難事故の発生が増加傾向にあることから、油津漁業無線局を通じた気象等の情報提供のほか、海上保安部（署）、漁船保険組合などの関係機関と連携した救命胴衣着用率向上に係る取組を実施しています。

### 2) 漁業無線局



本県には宮崎県無線漁業協同組合連合会が運営する油津漁業無線局と、漁協などが運営する海岸局（島野浦、門川、川南、青島、串間）の計6つの漁業無線局があります。

油津漁業無線局は、超短波、中短波、短波無線を有し、24時間体制で日本の東方、南方漁場及び諸外国200海里水域で操業するかつお・まぐろ漁船に対して、生命財産を守るための航行・安全等に関する情報や漁場における漁海況、市況等の漁業情報の伝達を行うことにより、本県漁船の安全で効率的な操業に貢献しています。

油津漁業無線局以外の5つの海岸局は超短波の1ワット無線を使用し、本県沿岸で操業する漁船との通信により、本県漁船の安全操業に貢献しています。

油津漁業無線局を統制局として他の5つの漁業無線局は専用回線で結ばれており、夜間や漁協が休みの時には、統制局である油津漁業無線局が一括聴守する超

短波の24時間聴守体制が確立しています。

このネットワークを活用し、平成21年度には漁船救助支援システムを整備しました。これは、漁業者が海中に転落するなどの緊急事態が発生した際、船から即座に救急信号が発せられ、それを無線局が聴守し漁船の位置をシステムの画面上に表示するというものです。これにより、緊急時の捜索活動が容易になり、生存救助率が飛躍的に向上することが見込まれています。